

経営比較分析表（令和5年度決算）

佐賀県 玄海町

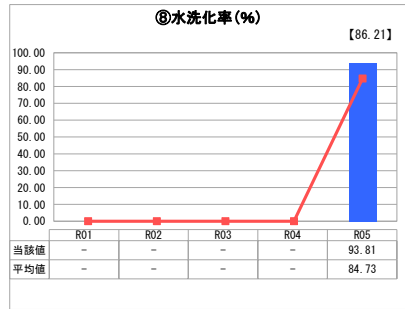
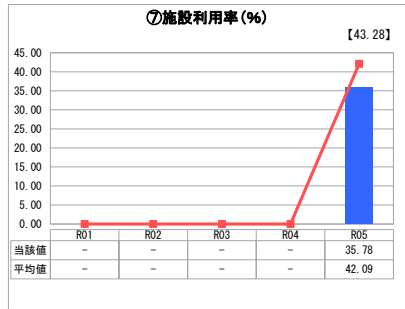
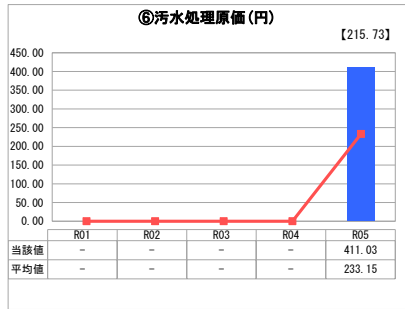
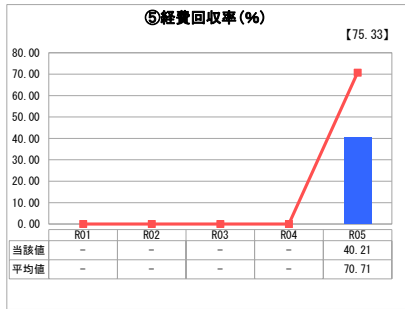
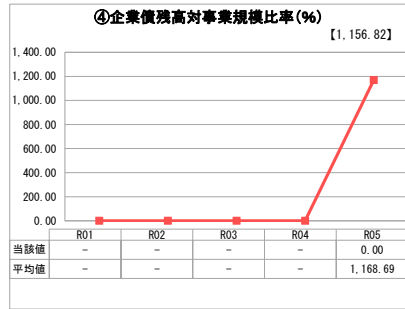
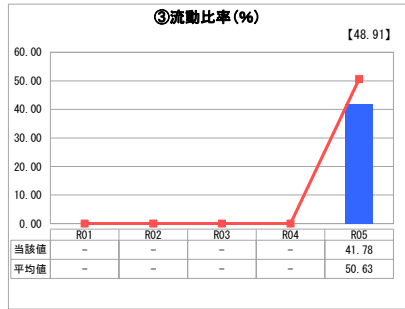
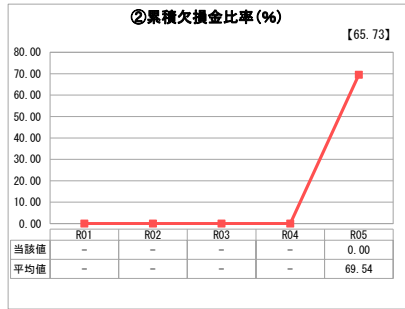
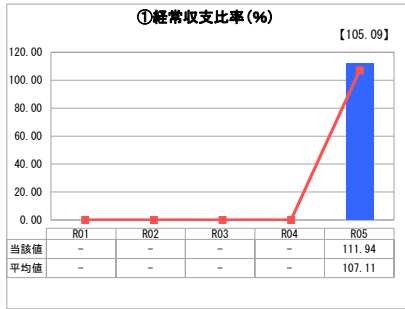
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	78.74	75.35	100.00	3,520

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
4,966	35.92	138.25
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,698	1.46	2,532.88

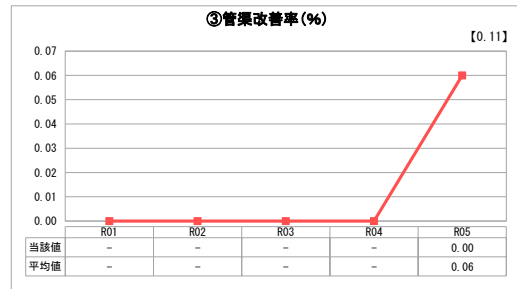
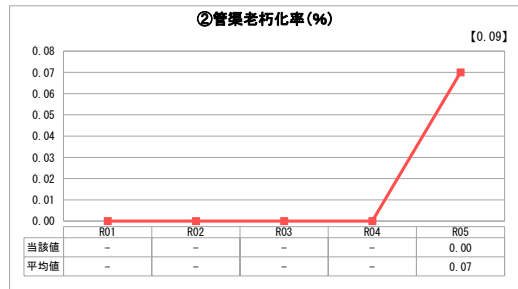
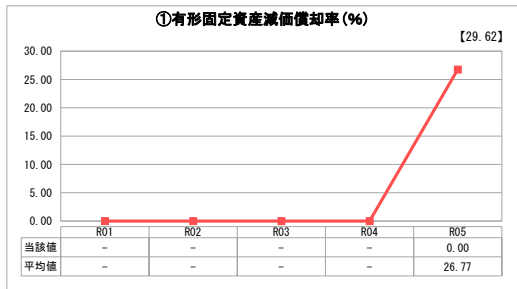
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①100を超えているが、使用料以外の収入(他会計補助金)に依存している状況である。
- ②流動負債の6割を企業債償還金が占めている状況で、償還額がピークの令和13年度以降は比率の増加が見込まれる。
- ③使用料以外の収入(他会計補助金)に依存しており、使用料収入のみでの運営が難しい状況である。
- ④類似団体よりも高いが、これは令和5年度は工事費の占める割合が大きいことが原因である。
- ⑤近年においては、節水型トイレの普及や区域内人口減少の影響を受けて類似自治体よりもその影響が大きいものと予想される。
- ⑥類似団体と同程度となっている。

2. 老朽化の状況について

南部処理地区は平成18年度、北部処理地区は平成22年度に供用開始した。ストックマネジメント計画により維持管理費と更新費の平準化を図る予定である。

全体総括

使用料収入に対し、他会計補助金に依存している状況である。更に、人口減少が想定を上回っており、今後の使用料の増加が見込めない状況のなか、老朽化による更新経費の増大など今後の経営を考える上で困難な状況が予想される。ただし、令和6年度に料金体系人頭制から従量制に改定しており、今後の推移を見定めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。